



このコーナーでは、市内で元気に生き生き活動しているシニア世代の方々を紹介します。

大手製パン会社で働いていた会長の八^{やくわ}欽さんを“先生”とし、さまざまなパンづくりに挑戦している「パン作りサークル『アンパンマン』」の活動に密着しました。



「何事もまずは挑戦してみて、最終的においしいものができればOK!」という八欽さんの教えのもと、試行錯誤しながらレシピに取りかかる皆さん。最も特徴的だったのは、コミュニケーションの多さです。「卵黄塗ってみる?」「やってみよう!」「食器洗っておくね」「ありがとう」。オリジナリティーあふれるパンをつくれるのは、皆さんの会話が織り成す“相乗効果”が大きく作用しているのかもしれない。さまざまな価値観を持つメンバーと共に活動するからこそ生まれる化学反応に、サークル活動の醍醐味を感じました。



あちこちから沸き起こる、皆さんの会話の端々から感じ取れるのは“チャレンジ精神”と、“思いやり”。これらを隠し味に完成したライ麦食パンは、こんがりときつね色に焼き上がり、皆さんの顔をほころばせていました。

取材先

戸田市シルバー人材センター
パン作りサークル「アンパンマン」

22人のメンバーで構成され、月1回新
曽福祉センターで活動している。



パン作りサークル「アンパンマン」の皆さん

こどもアート館



まだらめ さな
斑目 咲菜さん
(美谷本小学校 6年)

作品名

**「日向と日陰の
涼しさを感じて」**

日なたの暑いところは、だいたい色を入れて、木漏れ日の様子を表しました。日陰は黒色を入れて、涼しさと暗さを表しました。マスキングテープを何本も重ねて、木漏れ日のいろいろな形をつくりました。色の組み合わせ方も工夫したので、注目してください。



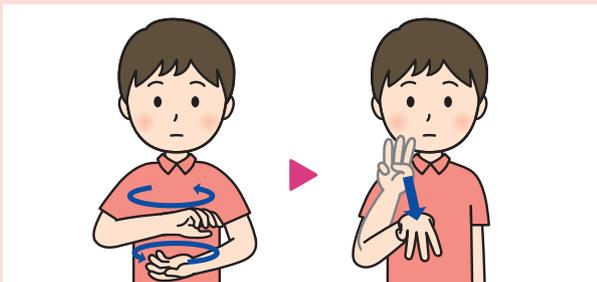
手話でコミュニケーション

第59回

今月は、「荒川」「氾濫（洪水）」についての手話を紹介します。

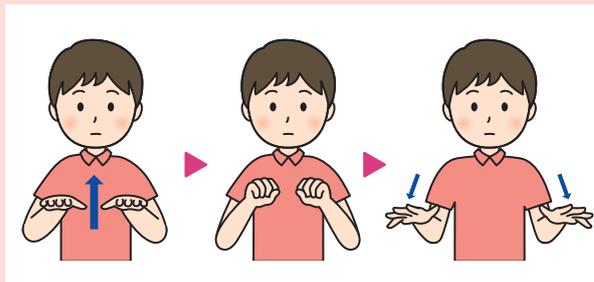
問い合わせ 障害福祉課（内線 297）

① 荒川



指先を折り曲げた両手のひらを上下に向かい合わせ、互い違いに回し、右手3指で「川」の字の形を書く。

② 氾濫（洪水）



下に向けた両手のひらを水平に構え上へ上げ、上げたところで両手を握り、前方斜め下へ向けて手を開く（水が広がる様子を表す）。